

県北の家庭教育応援企業通信

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
電話024-521-2814

親子の学び応援講座 開催

【伊達地区PTA連絡協議会】

地域でつながる家庭教育応援事業「親子の学び応援講座」(伊達地区PTA連絡協議会)

令和元年11月9日(土) / 伊達ふるさと会館 MDDホール

【講演】「子どもの創造的想像力を育む親の役割～AIに負けない子育てを考える～」

【講師】IPU・環太平洋大学教授 お茶の水女子大学名誉教授 内田 伸子 氏

幼稚園・小学校・中学校における家庭教育の推進に向けて、親の学び・家庭での実践活動を支援する目的で域内2連合PTAを対象に「自己肯定感の形成」をテーマにした講座を実施しています。

第2回目の講座を、11月9日(土)伊達地区PTA連絡協議会で開催しました。脳の発達の過程やしつけスタイルによる成長の違いについて、科学的データの裏付けと実際の事例を通してわかりやすく説明に参加者は皆引き込まれていました。「3H」や「盆栽」など印象に残る短いフレーズで子育てで大事にしたい考え方が提示されたので、それぞれの家庭や学校現場における実効性の高い講演でした。



(1) 想像力の発達

① 五官を使った体験の大切さ

- 想像力⇔生きる力 “人はパンのみにて生きるのではない。想像力によって生きる力が与えられる。”～フランクフル「夜と霧-ドイツ強制収容所の体験記録-」
- 第一次認知革命(生後10ヶ月)では、頭の中で「イメージの誕生～記憶～モノの同一性認識」が始まり、外からわかる変化として「社会的参照:鏡や母親の模倣等」が見られる。
- 第二次認知革命(5歳半頃～)では、プラン、メタ認知、可逆的操作、情報処理過程の精度が高まる。
- 第三次認知革命(9歳頃～30歳頃)では、意志力、判断力、モラル、情緒、自我同一性、人間としての豊かさが発達する。

② 子どもの個人差・性差の秘密

○ 「気質」(対人対物システム)の性差

ア 人間関係に敏感な「物語型」には女兒が多い。
 …ままごと、生活絵本、物語絵本を好む。

イ モノの動きや因果的成り立ちに敏感な「図鑑型」
 は男児が多い。
 …積み木、ドミノ、科学絵本、図鑑を好む。

○ 誕生時の大脳は、女兒は左脳(理性) > 右脳(感性)
 で成熟するのに対し男児は左脳⇌右脳で成熟する。

○ 乳幼児～児童期の発達過程、発達原理

第1 階段を上るように順序よく進む。階段の幅(発達の仕方)は違う。

第2 スパイラル状に進む。

第3 行動の上で「戻る」「停滞する」

→ ころころ・からだ・あたまの中で、見えない力が育っている。

○ 経験は想像の豊かさを左右する。

ア 見えない未来を思い描く素材となるものは経験

イ 経験が豊かであるほど想像世界は豊か

ウ 想像≠経験

→ 断片的な経験の複合や加工作用により、新しいものを創造する。

○ 5歳半頃談話文法(起承転結)、ウソとホントの関係づけ(カットバック表現)が獲得される。

○ 談話スタイル(出来事の説明)の違い日本語母語話者…時系列「そして、それから、〇〇となる。」
 英語母語話者…結論先行「〇〇だった。なぜなら、〇〇だったから。」

○ 5歳過ぎからのWHY(なぜ)質問に対して

→ 親、保育者は回答せず、「どうしてなんだろうね」と返す。

→ 子どもが対案を出してくる。

→ 大人は「そうなんだろうね」「よく考えたね」と共感的に受け止める。

⇒ 論拠や根拠をあげて説明する力が育つ。

(2) 早期英語教育の是非を巡って

① 家庭の経済事情と学力格差の関係

○ 読み・書き…所得と関係なし

○ 語彙力…所得が高いと得点が高い。

→ 所得が高い家庭の子は習いごとをしている割合が高く、コミュニケーションの機会が多いためと考えられる。

○ 保育形態による語彙力の差…自由保育 > 一斉保育

→ 自由遊びの時間が長い方が語彙力が高まりやすい。

② 楽しい会話で母語の土台をしっかり築く

○ 英会話塾は英語学力に効果がない…お茶大付属中 10年間の追跡結果より

○ 海外語学留学

→ 9~11歳は効果大(日本語、英語とも保持)

→ 2~4歳は効果なし(帰国後の日本語に難あり、英語はほとんど忘れる)

○ 胎児期・乳幼児期は母語の土台をしっかり築く。



以上、講座の一部をご紹介しました。詳しくは県北教育事務所のホームページをご覧ください。
 → <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/345882.pdf>

家庭教育応援企業研修を開催しました

開催企業…【税理士法人ケーエフエス・株式会社ケーエフエス・株式会社KFS ライフ設計】

日時…令和元年12月2日(月) 13:00~14:00

場所…ユニックスビル8F：第二会議室

講師…山本和宏氏(福島県学校教育指導員)

研修テーマ「子どもたちのより良い成長を願って～自己肯定感を育む親のかかわり方～」

各学校で、授業参観時等に、PTA対象の研修を実施していますが、仕事の都合で職場に戻らなければいけなかったり、父親の参加率が低かったりと、学校での研修会に参加しにくい場合も多いようです。そこで企業内での研修会を実施し、より多くの方々に家庭教育の啓発を図っていくことを目指し、本研修を設定しました。また、ケーエフエス様の社内アンケートでは「子どもの個性の伸ばし方」「自己肯定感の形成」に関心が高いことが分かりました。そこで、本テーマを設定し、より良い家庭教育の啓発を行うこととしました。

【講演の内容】

◇ はじめに

- 座右の銘「とにかく楽しく！」
- 人生は一度。迷ったらゴーの気持ちで、ぜひとも「チャレンジ」してほしい。

(1) 子どもたちの現状(○要因 ◎一般的要因)

- 少子化→ 以前は兄弟の仲でもまれて育つこと(学ぶこと)が多かった。
- 核家族化→ 身近に相談できる人がいない。
- 情報化→ 現在とても大きな問題である。SNSによる事件・トラブルが絶えない。
- 人間関係の希薄化と地域の教育力の低下
 - かつての育成会ではほとんどの子どもが集まった。(現在は希望参加が多く、減少傾向。)地域の関係性は子どもの成長に大きく関わる。地域の行事に参加することから得られる学びは大きい。家庭ではしつけ、学校では学力・社会性、そして学んだ要素を地域で伸ばしていきたい。
- ◎ 抑うつ化傾向→ 三無主義から四無主義へ。無気力、無責任、無感動に無表情が加わる。(気力・意欲の著しい低下)
- ◎ コミュニケーション能力不足
 - 自分から友達を誘えない。「お母さん、あの人と遊びたいから誘って。」
 - 4人で遊んでいても、2人は対戦ゲーム、後の2人はカードで遊ぶ。
- ◎ 遊びの変化→ 外で子どもが遊んでいる姿をあまり見かけなくなった。
- ◎ 言葉遣いの乱れ→ 「先生、トイレ!」(酔っ払い言葉)を「先生、トイレに行ってもいいですか。」と正しく直させる。「この前も言ったでしょ!」という言い方はよくない。繰り返し教えることが大切。
- ◎ 自己中心的
 - 「自分さえ良ければ」という風潮がある。自分がされていやなことは人にはしない、言



われていやなことは人には言わないということを、子どもに必ず言うておくこと。親であっても、上から目線ではなく同一目線で言う。その子の視線に合わせて語りかける。「110 cm (1年生の平均身長) の視界」。

◎ 睡眠相「何時に寝て、何時に起きるか」の未確立

→ 睡眠不足から不登校になってしまうケースが多い。小学生の睡眠時間は9時間ぐらいである。生活のリズムを作っておくことが大事。

◎ 食事の変化

→ 食事の時、親子で語り合える時間を1日1回はもちたい。食卓の座る場所を時々ローテーションすることも効果的。

(2) 自己肯定感(自立への基盤)をはぐくむために

① 自己肯定感⇔自己否定感

○ 自己肯定感の高い子は「家族にとって、自分は大切な存在だ。」自覚している。

→ 頑張れる、チャレンジできる子になれる。

○ 自己肯定感の低い子は、親からほめられたり認められたりした経験がない。

② 自己肯定感を育む親のかかわり方

○ 子どもを自立させることが親の責任である。



○ 信頼関係の構築が大前提である。家庭では、親は子どもの話を真剣に聞くこと。手が離せないときには、一段落したら親から子どものところへ行く。親が気分に対応していると、子どもはそれを見抜いてしまう。

○ 子どもを正しく知る。食べっぷり、遊びっぷり、付き合いっぷり(「3つのぷり」)をよく見る。

○ 父性(ビシッ)と母性(フワッ)のバランスをとる。一人二役も出来る。

○ 自己決定場面の意図的な設定を大切にする。

例 キャンプでの朝食(セレクト方式)

→ 「牛乳でいい。」から、「牛乳がかいい。」といえる子にしたい。自分で決めて、言葉を発する経験を大切にしたい。

例 宿泊学習での野外炊飯

→ 与えられたメニューで失敗すると、人のせいにする傾向が高い。しかし、自分達で決めたメニューで作ると、失敗しても文句を言わない。(カレーのルーが薄かろうが、濃かろうが、文句を言わずに食べる。)

○ 出番(家庭の中での役割分担)を大切にしたい。新聞取りのようなちょっとした手伝いでよい。「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることで、「自分はこの家でなくてはならない存在なんだ」と子どもは感じる。

○ 自力解決力を育てる。

例 「OOちゃんにけられた」

→ 良くない対応は、「じゃあ、お母さんが言ってやるから」とすぐに親が出る。

→ 良い対応は、よく話を聞いて、事実を確認する。そして、自分はどうしたいのか本人に考えさせる。

- チャレンジの機会をあたえる。日本式の「頑張り」ではなく、外国式の“You can do it!”（大丈夫、君なら出来る）で励ますと、自立のための礎となる。
- 積極的に良さを認める。普段の子どもの様子をよく見ていないと、良いところ探しは出来ないもの。「親（先生）が見ていてくれた。」ということが子にとって大きな喜び・意欲づけになる。

③ 望ましい様子

- 叱るときは、子どもが納得できるように叱ること。
- 「やっぱりおまえか。」という決めつけはよくない。
- 子どもは全力で生活している。前のことは忘れてしまう。だから、前のことを持ち出して叱っても意味がない。
- Aはだめと言っているのにAをやる、Bと言うと言っているのにBと言うなど、二重メッセージにならないように。「『ばか』って言ってだめでしょ、ばか。」と言ったり、「叩くなって言っているでしょう。」といいながら叩いたりしてはいけない。

(3) 学校・家庭・地域の連携

- 地域の行事、イベント（自然の家など）へも参加してほしい。
- 個性の本来の意味は「キャラクター（性格）」である。その子に向いていることを見つけて伸ばすこと。だから、小さい頃からサッカーばかり、バスケットボールばかりではなく、他のスポーツも経験できる機会を与えたい。

◇ おわりに

- 親自身が自己肯定感を高め、じっくりと子どもと関わる。親がゆとりをもたなければ、子どもの自己肯定感は育たない。
- 焦らずに、自信をもって、比べず、あきらめず子どもと関わっていききたい。

【研修後の懇談より】



研修後、企業代表者、講師を交えて懇談を行いました。ケーエフエス代表の小島氏は家庭教育への造詣が深く、本研修会の主旨を十分にご理解いただきました。社員の皆様の参加方法や研修中の勤務形態などきめ細かくご配慮いただいたことで、実りある研修会となりました。講師の山本氏もこうした企業様の姿勢に大いに共感され、本研修が社員の皆様への啓発につながることへの期待を述べられていました。

次号は家庭教育応援企業研修「東芝プレシジョン株式会社」を紹介します

日 時…令和2年1月22日(水) 13:00~14:00

場 所…東芝プレシジョン株式会社

講 師…佐藤敏夫氏(くろがね小屋管理人) 佐久間敏彦氏(福島市教育委員会・生涯学習指導員)

研修テーマ「山から学ぶ～自己肯定感を育むために～」

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させていくためには、家庭や地域だけでなく、企業の取組の推進が益々求められています。各社の素晴らしい取組を発信し、広く紹介して参ります。随時受け付けておりますので、家庭教育のより一層の充実のため、ぜひ、取組の様子を御報告ください。

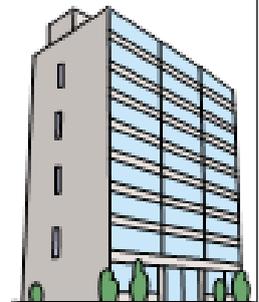
家庭教育応援企業としてのご支援とご協力ありがとうございます

【新規申込企業の紹介】

- 福島市 **株式会社帝北ロジスティクス** ○福島市 **FAシンカテクノロジー株式会社**
- 福島市 **公益財団法人福島県労働保健センター** ○福島市 **株式会社イーフレイン**
- 川俣町 **ミツフジ株式会社福島工場** ○本宮市 **有限会社ゼスト**
- 二本松市 **有限会社丸中建設**

今後とも、家庭教育の推進と子どもたちの健全育成の為お力添えをいただきますよう、お願いいたします。

- ＜福島市＞ 福島ヤクルト販売株式会社、大槻電設工業株式会社、福島信用金庫、佐藤工業株式会社、朝日システム株式会社、東開工業株式会社、社会医療法人秀公会、株式会社福島銀行、株式会社ダイユーエイト、株式会社大丸工務店、株式会社東邦銀行、株式会社山川印刷所、株式会社日進堂印刷所、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、第一温調工業株式会社、協和ボーリング株式会社、株式会社トーネット、株式会社トーネットコーポレーション、株式会社三本杉ジオテック、株式会社オノヤスポーツ、株式会社日新土建、株式会社クリーンテック、株式会社環境分析研究所、株式会社このの、一般財団法人大原記念財団大原総合病院、株式会社阿部紙工、株式会社光和設備工業所、シオヤユニテック株式会社、福島酸素株式会社、株式会社クリフ、内池醸造株式会社、株式会社アポロガス、社会福祉法人けやきの村、福島民友新聞株式会社、株式会社ジェンツ、生活協同組合コープふくしま、渡辺エンジニアリング株式会社、株式会社福島民報社、福島ガス株式会社、社会福祉法人陽光会、きらり健康生活協同組合、北芝電機株式会社、アース株式会社、株式会社エイティック、有限会社西坂製作所、福島カラー印刷株式会社、福島鋅金工業株式会社、有限会社佐戸川ダクト鋅金工業所、株式会社サン・ベンディング福島、株式会社倉島商店、東北電力株式会社福島支店、イーコンセプト株式会社福島支店、株式会社モリヨシ技研、社会福祉法人ライフ・タイム・福島、コボックス株式会社、有限会社テレサ、株式会社ライフロール、渋谷レックス株式会社、中央設備株式会社、協三工業株式会社、
(次ページへ続く)



株式会社古俣工務店、株式会社福島製作所、ミライズ株式会社、株式会社キスキ、
株式会社沖データ福島事業所、株式会社高槻、株式会社イー水技研、新広建設株式会社、
株式会社ももがある、有限会社やない製麺、福島エナメル工業株式会社、
有限会社櫻井運送、株式会社丸福織物、社会福祉法人北信福祉会、株式会社シンワ、
株式会社銀嶺食品、株式会社コアテック福島支社、株式会社旭電化、有限会社アネスティ、
ふくしま未来農業協同組合、株式会社フクセツ、株式会社信濃屋、有限会社 幸、
文化設備工業株式会社、富久泉工業株式会社、株式会社コムヤマ、サンヨー缶詰株式会社、
採用と教育研究所、特別非営利活動法人チームふくしま、高野精器有限会社、
福島ネオ工業株式会社、宮本技研工業株式会社、寿建設株式会社、
株式会社小島建築設計事務所、ダイハツまつかわ、大久自動車販売株式会社、
株式会社デイリースービス、税理士法人ケーエフエス、株式会社ケーエフエス、
株式会社KFSライフ設計、株式会社つながるファーム、東芝プレジジョン株式会社、
株式会社帝北ロジスティックス、株式会社イーブレイン、
公益財団法人福島県労働保健センター、FA シンカテクノロジー株式会社

- <川俣町> 株式会社川俣町農業振興公社、株式会社小林、株式会社誉田、
有限会社大善自動車整備工場、株式会社渡辺機械、有限会社藤野機工、
有限会社丸信モーター、有限会社川俣クリーンホープ、有限会社カミノ製作所、
ミツフジ株式会社福島工場
- <伊達市> 富士通アイソテック株式会社、公益財団法人仁泉会、株式会社ナプロアース、
社会福祉法人慈仁会、社会福祉法人信達福祉会、三和石油ガス株式会社、
株式会社新栄製作所、常興工業株式会社、大沼林産工業株式会社、有限会社光陽スタジオ、
伊達物産株式会社
- <桑折町> 福興産業株式会社、曙ブレーキ福島製造株式会社、株式会社三栄精機製作所、
渋谷建設株式会社、根本建設株式会社、社会福祉法人緑風福祉会、
一般財団法人桑折町振興公社
- <国見町> 公立藤田総合病院、株式会社国見メディアデバイス、株式会社荏原風力機械国見工場、
有限会社斎藤建設、株式会社福梁製作所、株式会社樋口屋商店
- <二本松市> 株式会社丸や運送、二本松信用金庫、医療法人辰星会、株式会社オウジ、株式会社野地組、
人気酒造株式会社、福島ルビコン株式会社、株式会社協栄製作所、
福島タカラ電気工業株式会社、高橋電機株式会社、株式会社東北東海、南電設株式会社、
株式会社東昇コンサルタント、株式会社菅澤建設、株式会社富樫縫製、
カルソニックカンセイ福島株式会社、有限会社未来テレトピア、有限会社丸中建設
- <大玉村> 株式会社三和製作所、株式会社富士ピー・エス東北工場、パーフェクトン株式会社、
おおたま村づくり株式会社、公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
- <本宮市> アルス株式会社、株式会社光大産業、東北協同乳業株式会社、株式会社イワキ、
株式会社マインド、川名建設工業株式会社、株式会社東北電設、コバテック株式会社、
有限会社菅野自動車整備工場、有限会社武田産業、有限会社飯田製作所、
株式会社ヨシハラ、有限会社佐藤工業、株式会社相原製作所、
福島エーアンドエープロイラー株式会社、
株式会社アサヒビールコミュニケーションズ福島支店、有限会社ゼスト

